

【天国への手紙

2021年11月14日放送分】

おとうさんへ

ラジオネーム：ドリームランド

おとうさん、去年の秋に突然脳出血で倒れ、天国に行ってしまうてから、この一年、長いようであっという間の日々でした。

おとうさんは、もう、向こうの住み心地に慣れたかな。

漫画が得意だったおとうさんは、私が小さい頃、いろいろなキャラクターの顔を紙に描いて家の壁に貼ってくれたよね。

一番好きなパンダの顔はかわいくて壁から外してお面にして遊んだし、お正月のすごろくを手書きで作ってくれた時は、紙の外側にいろんな絵を描いて、色を塗って、遊んだ後絵を切り抜いて、ノートや壁に貼って、あれはとても楽しかった。

特に覚えているのは、ポパイとオリーブとか、チップとデー ルとか、元気な2人組の絵がよく壁に並んでいたこと。

あれは、私と弟が元気で仲良くいてほしいというおとうさんの願いだったのかな。聞いておけば良かったな。

おとうさん、小さかった私たち兄弟に、思い出す度に胸が あたたくくなる楽しい思い出を沢山、ありがとう。

コロナ禍でお葬儀も法事も家族だけのひっそりとしたものしかできなかつたけど、一通りのことをするのに沢山悩んだり、疎遠になっていた弟と話し合ったり、物事を一つ一つ決めて滞りなく進めるって大変なことなんだと気づかされたよ。

でも、お父さんのおかげで残された家族が頑張る力をもらえたような気がしています。

これからもどうか私達を見守っていてくださいね。

おとうさんが「いいか、この歌は三木聖子がいいんだ」と、時々話してくれた、おとうさんの好きな歌、もしありましたらかけてくれるといい供養になると思うのでお願いします。

〈 まちぶせ／三木聖子 〉